

で国際交流をはかった。

彼は最初我々が三島田紀夫と何か関係があると思っただらしく、オー・ミンマユキオ……とかいっていた。

しかし、たいしたものである。あまり言葉も話せない異国にきてちよつと前に知り合った仲間と冬の穂高に登るのである。

その順応度には敬意を表す。もちろんこれは労山だから出来ることであろう。一般の山岳会では仲々こうはいくまい。

だが、採采海外遠征の事を考えるときもう少し語彙をやらなくてはと思った。

労山の中で英会話の委員会をつくりどなたか教えてくれませんか

？。

交流会の中で印象に残った話はこんなことだった。

稜園誌の年回り算が80万円。冬山の年目で剣岳に登った人。ヒマラヤの話。会費拡大の話。冬の穂高に登る女性はごく普通の方。松島さんのモロモロの話 etc

いずれにしても山でこの様に他の会の方々の気軽に交流出来るいうる喜びのことは、とてもうれしい事だと思った。

感涙の頂

12月31日 はれ風よし

ゆうべは強い風が夜通し吹いていた。

しかし夜半より風向きが南から

西に変わった様だ。

心配だった天気も満天の星との報告をうける。

完全装備にヘッドランプをつけて出発。

雪が程良くしまっていて実に歩き易い。筒傘にJPが出る。

西の方に街の灯がキラキラしている。高山の灯だろーうか。

